



Newsletter

No. 39

2010年10月1日

発行 レイバーネット日本

〒173-0036 東京都板橋区向原 2-22-17-403

http://www.labornetjp.org

labor-staff@labornetjp.org

電話 03-3530-8588 FAX 03-3530-8578

2010年秋

「レイバーフェスタ」へまっしぐら

2008年9月のリーマンショックから、世界と日本は激動を続けています。戦後初めての本格的政権交代から1年が経過しましたが、事態は膠着し、働く者の雇用と生活はいつにも改善のきざしはありません。労働者派遣法抜本改正は行き詰まったままで、ワーキングプアが日常化しています。これからどうなるのでしょうか。でも一番大事なことは働く者がチカラをつけ、「おかしいことはおかしい」と発信していくことです。

ことし10年目を迎えたレイバーネット日本は会員も450名をこえました。メンバーも労組員だけではなく、ジャーナリスト・研究者・弁護士・市民運動家・文化活動家など多様で、労働問題に関心をもつあらゆる分野の人々がつどっています。そのネットワークの中から、ことしは川柳班・国際部・報道部・レイバーネットTVなどプロジェクト活動が広がってきました。そしてやはりメインは、12月のレイバーフェスタです。ことしは12/19大阪フェスタ・



工場閉鎖反対！ストで闘うセブンスクリーナー労働者

12/23 東京フェスタの日程で取り組まれます。ぜひ皆さんの知恵とチカラを寄せてください。

レイバーネットTV、10月16日は明治公園に進出

5月17日にゼロ号放送からスタートした「レイバーネットTV」は、試行錯誤を繰り返しながら、9月21日で3号放送となりました。「労働界初のネットTV」ということで、多くのメディアが関心を寄せています。これまで「毎日新聞」「労働情報」「時事通信」「週刊金曜日」などが大きく取り上げ、確実に広がってきました。

2007年に私たちは「ユニオンYes! キャンペーン」を展開しましたが、レイバーネットTVは、月1回の定例の「ユニオンYes! キャンペーン」とし

て、世の中に発信していきたいと思えます。今秋は10月19日(火)・11月16日(火)と月1回のペースで放送します。まだまだ「試行段階」ですので、ぜひ視聴し、意見を寄せてください。また、10月16日に開かれる「反貧困世直し大集会2010～いいかげん変えようよ！希望もてる社会へ」では、会場の東京・明治公園に特設スタジオをつくり、OurPlanet-TV・PARC TV・レイバーネットTVの三者の合同企画で、ライブ番組を流すことになりました。名付けて「反貧困世直しだよ！全員集合」(仮)です。

レイバーネット活動案内

●「レイバーフェスタ」第一回実行委員会

今年のレイバーフェスタ(東京)は12月23日(休)に東京しごとセンターで開催します。第一回の実行委員会を下記のとおり行います。どなたでも参加できますので、企画案などお寄せください。

9月29日(水)午後8時～9時半

神楽坂スキャットセミナールーム(地下鉄「神楽坂」または「江戸川橋」7分)

場所の問い合わせ TEL 080-3723-8588

●レイバーネットTV・10～11月の放送

10月19日(火)午後8時～9時

11月16日(火)午後8時～9時

配信スタジオ 四谷メディアール

視聴サイト <http://www.labornet.jp/org/tv>

*グーグルで「レイバーネットTV」と検索してください。またツイッターではハッシュタグ #labornettv で書き込みができます。

●反貧困世直し大集会2010 ライブ放送

「反貧困世直しだよ！全員集合」(仮)

放送日時：2010年10月16日(土)11時～17時

配信会場：明治公園特設スタジオ

プラットフォーム：Ustream(ニコニコ動画)

企画実施：レイバーネット/OurPlanetTV/PARC TV

「ワーキングプア川柳・句集」発行します

労働運動にもっと文化を取り入れようと、2008年の「レイバーフェスタ」から川柳が仲間入りしました。「小さく産んで大きく育てる」とは、レイバーネット川柳班の喩えのようです。この間「ワーキングプア川柳講座」で学びながら、質・量ともに成長してきました。四苦八苦して吐いた句をぜひ記録にしておきたい。特に2010年、歴史の大きな節目の年に『句集』を残しておくことは大変意義のあることと、川柳班の有志が「句集刊行プロジェクト」を立ち上げました。現在編集作業に追われています。刊行は11月中旬の予定。1500部発行。予価600円。新書判。80ページ。壺花花さん（風刺漫画家）のイラストが表紙を飾ります。ご期待ください。

ところで、いつもながら先立つものは資金です。賛同金として1口1000円のカンパに、さらなるご支援・ご協力をお願いいたします。（わかち愛）

・振込口座：00150-2-607244

・口座名義：レイバーネット日本

★必ず「句集刊行プロジェクト」と書いてください。1口1000円× 口＝ 円（何口でもOK）

●行ってきました「鶴彬の生地」 乱鬼龍

9月12日（日）、この間「レイバーネット」でも知られるようになってきた、戦前の反戦川柳人・鶴彬（つるあきら）の生地、石川県かほく市の「第12回鶴彬をたたえる集い」に記念講演を依頼されて、現地へ行ってきました。

当日は、まず地元「高松歴史公園」の中に建つ「枯芝よ団結をして春を待つ」の句碑の前で「碑前祭」（約50人ほど）を行い、鶴彬の親族らのあいさつなどを受け、全員で献花。その後、会場を移して、私の記念講演「鶴彬に学び、鶴彬を超えよ」があった。

ありがとうございます 新たな機材導入ができました

前号ニュースレターで呼びかけた「レイバーネットTV基金カンパ」は9/20現在、39名・271,000円が集まりました。本当にありがとうございました。

これまで番組をご覧になった方は、おわかりと思いますが、さまざまなメカトラブルもありました。そこで、皆さんから寄せられた貴重なカンパを投入して、音声ミキサーと配信専用のPC（写真）を購入しました。これで今後の放送は、より安定したものになると思います。

現在、放送スタッフは全員ボランティアですが、出演していただく方への謝礼や交通費、機材スタジオ維持費、映像制作費など、今後のことを考えるとまだまだ資金が不足しています。これまで寄せられたカンパに感謝しつつ、引きつづきカンパを寄せていただければ幸いです。年内100万円をめざしています。同封の振替用紙をご利用ください。



講演に先立ち、昨年鎌倉建長寺における「川柳シンポジウム」の記録映像（20分）を上映し、大好評を受ける。そして、「総会」「懇親会」と続けて参加し、多くの皆さんと交流を深めてきた。「旅終えて秋も思いも深くする」（乱鬼龍）。

レイバーネット 2010 年度 基本財政予算

以下の予算案は総会を受けて、5/25の拡大事務局会議で決定したものです。

*印が新規または変動項目です。他は昨年実績に基づいています。なお、これは会の基本財政で、レイバー映画祭・レイバーフェスタ・レイバーネットTV・ブックレット発行などは独立採算制をとっています。

●収入

前年度繰り越し	374,741円
会費収入	1,200,000円
カンパ収入	100,000円
参加費収入（定例会など）	10,000円
雑収入	10,000円
企画収入	50,000円
ウェブ収入	120,000円*
（バナー代金その他）	
-----	-----
総収入	1,864,741円

●支出

交通費（会議、取材など）	300,000円
ニュース印刷費	80,000円
ニュース発送費	250,000円
振込手数料	40,000円
通信費	70,000円
文具費	5,000円
会場費	50,000円
事務所維持費	240,000円*
（月2万円）	
JCAサーバー費用	120,000円
他団体への賛同金	10,000円
プロジェクト企画予備費	100,000円
謝礼（講演・依頼原稿等）	55,000円
国際部活動費（翻訳24回）	72,000円*
技術部ウェブ管理料	72,000円*
-----	-----
支出計	1,464,000円
繰り越し予定	400,741円

訪韓レポート

韓国強制併合 100年・日韓の歴史を見つめなおす

高澤 亜美

この8月、ノレの会の尾澤邦子さんと共に、韓国の「強制併合100年韓日市民大会」に参加しました。初日は、「日韓青年学生フォーラム」に出席。靖国、日本軍慰安婦、独島、人種差別など多岐にわたる問題についての討議をしました。まだあどけなさの残る韓国の女子高生たちによる、日本軍慰安婦問題の活動報告はとても印象的でした。

韓国では、慰安婦問題について知られてはいますが、その解決のために具体的に活動している人たちは少ないそうです。また、性犯罪被害者を差別する風潮も根強く、被害者は何重もの苦しみを背負って生きているとのこと。そんなおばあさんたちの力になりたい、できること小さなことから国を変えていこうと地道に取り組む姿勢に心打たれました。

また、「ドキュ希望」の朴貞淑監督を訪問し、韓国スミダ闘争と関係者のその後を追ったドキュメント映画「海を越えた初恋-1989, スミダ」を観ることができました。「我々は死ぬことはできても、闘いをやめることはできない」と命をかけて闘う4人の姿を見て、労働運動の意義について考えさせられました。

仕事を奪われるということは、生存権を脅かされるということです。労働者が安心して生きていくために、労働運動はなくてはならないものなのだ改めて感じました。レイバーフェスタでぜひ上映していただきたいお勧めの作品です！ 短い滞在日程でしたが、日韓の歴史を見つめなおし、労働運動について思いを巡らせることのできた、充実した旅でした。（首都圏青年ユニオン）



「強制併合 100年韓日市民大会」ソウル



東京の「韓国強制併合 100年 日韓市民共同宣言日本大会」

世界を駆けめぐる映画「フツーの仕事がしたい」

土屋トカチ

7月22日から28日までの一週間、カナダ・トロントで開催される「新世代映画祭」へ参加してきました。「フツーの仕事がしたい」が北米プレミア上映されることになったからです。「新世代映画祭」は、まだ新しく今年で2回目。

上映作品は日本映画のみです。ドイツやオランダなどでは、日本映画のみの映画祭が毎年開催されていますが、なぜトロントで日本映画特集の映画祭なのか。そこにどんな意味があるのか判らなかったのですが、映画祭会場に到着してから、ようやく理解ができました。

第2次世界大戦中、北米在住の日系移民は「日本人である」という理由で、抑留されました。トロントは日系人の多い街であるにも関わらず、コミュニティは長い間破壊されたままでした。戦後、日系移民による運動が続き、抑留に対する謝罪と補償の意を込めた建物をカナダ政府に作らせました。それが今回の映画祭会場となった日系文化会館で

す。10年ほど前に建てられ、多目的ホールの他、武道館、美術館、移民の歴史に関する展示などもあります。

「フツーの仕事がしたい」の上映には約60名のお客さんが来場



トロント「新世代映画祭」上映会場

してくれました。上映後の質疑応答では「6年ほど前に日本に留学していた時、賃金未払いにあったのだが、取り戻せますか？」など、映画の感想と共に自身の労働相談をしてくる若者が何人もいました。悪質な日本企業は世界中で迷惑をかけている！…何とも情けない思いがしました。

（レイバーネット日本事務局長）

新入会員紹介

●「口を磨く」講座をやってほしい ゆか

自分の時間を大事にできる仕事がしたいゆかと申します。まず最初に、私は労働組合内での仲間を大事にするやり方はすばらしいと思っています。しかし、仕事の環境を良くするために運動するには、生活が安定し、気持ちの余裕がないと私にはできません。それに交通費などかかります。それから、口が達者で自己主張できなければ自己責任論を持ち出されているようで、参加する気持ちがあっても「使えない奴」という気がします。職場環境でとっさに起こった様々な問題に即座に対応できる人ばかりに問題がふりかかるとは思いません。レイバーネットTVで口を磨く講座があれば、是非見たいです。宜しくお願い致します。

●諸運動が交流する「場所」に期待 岩下雅裕

参加歴2カ月ほどの「立川の岩下」です。72年に陸自ヘリボーン部隊の立川移駐があり、そのとき結成された立川自衛隊監視テント村のメンバーといえば、年齢はバレますね。テント村では70年代、「反軍・反基地闘争と労働運動の結合」「階級的地域共闘の建設」という方針を立てました。基地撤去・自衛隊解体のためには、労働者を中心とした地域の人々との連帯が必要と考えたのです。地域という問題意識は、諸運動が交流する「場所」の概念に近いです。一方的にブログの案内を送りつけているだけで恐縮ですが、レイバーネットにはこの「場所」の意味を期待しています。ブログの他、テント村のHPものぞいてみてください。テント村：
<http://tentomura.web.fc2.com/index.html>

●「生きる価値ある人生」を取り戻したい

上田眞実

生まれは北海道・室蘭。と言ってもそこが故郷という訳ではなく、転勤族の転勤地でした。人事異動の紙切れ一枚で何処へでも行きました。紙切れ一枚で家族の住む家、環境が変わってしまう事に違和感を持ち、その環境の所為で家庭内崩壊を起こした家族を沢山見ました。大企業の壮麗なビル群を見るたびに、企業に潰された家族の涙を思います。そんな環境なので『郷土意識』や『郷土愛』みたいな物で繋がったり『愛社精神』みたいなものを持つてる人に違和感を感じます。今回参加させて頂いた動機は、色々と身近な所で起きる『人』としての価値をないがしろにされているような事実を沢山見たからです。何故そんな事が起きるのか？ 背景、構造、原因を探り少しでも『生きる価値ある人生』を多くの人と取り戻せる様な活動をしたい、と思ったからです。それは自分へのク

リエイティブな活動だと思っています。これからレイバーネットで色々、勉強させてください。宜しくお願いします。

●女性労働者の権利向上に日々奮闘 板倉由実

はじめまして。私は、メディアールと同じビル(伊藤ビル)にあります東京法律事務所です。弁護士をしています。日弁連・両性の平等に関する委員会というフェミな委員会に所属しつつ、1985年の均等法制定以降、遅々として進まぬ男女賃金格差、増々進む女性労働者の非正規化を阻止すべく日々奮闘(?)しつつ、時にくたびれた時には、仕事をさぼって地方の温泉に浸かりに出かけつつ、東京に戻ると、いつものとおり、労働事件(もっぱら労働側)、ハードなDV離婚事件、セクハラ事件などを扱っています(先物取引被害、相続などフツウの事件も扱っています)。レイバーネットの方々には元気で個性的ですね。いろんな情報・意見も勉強になります。どうぞ宜しくお願い致します。

●必ずJR職場に戻る決意です

中野勇人



1987年にJRを不採用になり、今日まで23年間「解雇撤回・JR復帰」をめざし闘っています。現在は、北海道から徳島県へ四国常駐オルグとして赴任し、7年目を迎えています。マラソン、自転車等で様々なキャラバンを取り組み国鉄闘争を推進してきました。

6月28日、最高裁において鉄道運輸機構との金銭和解は成立しましたが、完全解決には道半ばです。9月14日、民主党の代表選も終わり、国鉄闘争の完全解決に向け、残された雇用問題の闘いも、いよいよ大詰めを迎えます。必ずJR職場に戻り、運動を継承していく決意です。(国労北見闘争団) *写真=レイバーネットTV出演中の中野さん。これがきっかけで入会。

●フィリピン連帯運動をしています 長橋美保

こんにちは。「共にわかちあえる豊かさをめざして」フィリピンの人々と連帯する運動に携わっています。焦ることなく自分の出来ることから実りある明日を信じて大地を踏みしめて行けばいいと考え、牛の歩みで毎日を過ごしています。労働運動関係は「三多摩・カサナグの会」その他は「三多摩・フィリピン資料センター」と、活動内容により名称を使い分け活動をしているグループに属しています。事務局数名で動いている本当に小さな団体で、メンバーの高齢化が大きな悩みです。隔月で「カサナグ通信」を発行していて記事はちょっとカタイかな(カサナグとは一条の光というビサヤ語)。代表者のブログ、tamashige.so-net.ne.jp/ があります。よろしく!

レイバーネット日本の会員になりませんか

現会員数 450名

ウェブアクセス 1日 1700

会員になれば、自分でニュースやイベント、お知らせを提供できます。レイバーネット日本は組合で個人で全国にアピールする絶好の場所です。

年会費 3,000円

郵便振替 00150-2-607244 レイバーネット日本
郵送宛先 〒173-0036 東京都板橋区向原 2-22-17-403

レイバーネット日本事務局

入会申込用アドレス apply@labornet.jp.org

電話 03-3530-8588 ファクス 03-3530-8578